

本年度公営住宅の割当決まる

40年度、住宅難解消へ

県は三十一年度公営住宅認定四百十戸について、市町村の建築係監視課長を兼ねて打合せた結果、認定は市十六、磐城市七、磐城市八、勿来市、四倉市八、市町村は平市九十一、磐城市二十、磐城市四十六、勿来市二十、四倉市二十というように平市は販賣、市営を含む百七戸という最高の建設戸数となつた。

平市の建築係は監査が下神谷、

市営が六人町、赤井、東井、高久

鎌田、五色町で、とくに五色町は

初の四階アパート(二十四戸)が

建設される。総工費約四千円。

市町村は新市建設計画によれば、

三十五年度末現在の平市の住

宅不足数は手当百戸が見込まれ

ているが、年々公営住宅建設數

を増して四十年度には不足住宅

を十分の一の百三十戸にまで

減らす計画で、これに加え繰り

も下神谷地区に五年計画で百

六戸を新設する計画もあって

平市の人口増が今のはずの増え

ばかり四十年度には住宅難解

がほとんど解消されるものとみら

れている。しかし問題は低所得

者の住宅難を解消する大きさの問

題が残っている。

徴収率、最高記録か

県税が好景気を反映

月未現在の県税徴収率がまとめた四

月度は前年同期より一億

と24年2月第2回認定の第三種便物認可

昭和21年6月1日

和輸省認可

昭和24年2月第3回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第4回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第5回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第6回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第7回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第8回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第9回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第10回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第11回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第12回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第13回認定の第三種便物認可

昭和24年2月第14回認定の第三種便物認可

七年、萬野義美(新谷薬局)高
木子玉子(丸井文具店)以上六
年

放魚祭で臨時

磐城市会 あす

磐城市では臨時議会十二日午前

正午によって該年令が生後六ヶ月

十六戸を新設する計画もあって

から漁三木まじに引き上げられ終

金も一八百四十七円であったも

のが三百七十一円)減りになつた

た。該議事は昭和三十三年四月一

日から三十四年六月三十日まで

で生まれた幼児。

勿来で商 勿来商工振興会は

店診断 十二日から十四日間各

商店の診断を行なう。登録診断

は東京商工経済研究所安田正

夫氏。

山中で 勿来市田中学校で

体育祭 はPTAが主体となる

四倉中体育後援会

四倉中学校体育後援会は九日

開幕、全員参加式、副会長並

和良氏ら四名が六月略部会決

定式を承認、理事長・大塚明

氏を推した。三十六年度事業体

組会議では政治部長講話等二

時間批評」と題し講演会を開いた。テレビ、ラジオ、名解説を知

られて、いるだけに会場には約六百

人が集まり、最後まで熱心に講演

を聴いていた。

朝鮮藝術團 朝鮮總連通り支

公演に拍手 部主催の朝鮮中央

芸術公演は十日後一時と午後六時の一回、平市公会堂本館で開かれた。それぞれ三時間にわたり民族舞かな音楽と踊りを披露された。舞踊は舞踊者三千人が独

特に舞踊頭では法人事業者が五

千三百三十八万一千円(三十七

・五%)次いで自動車類の舞踊

で、他はいずれも増加している

と見えていたが、このほか舞踊

ブームのため、不動産賃貸業

が大幅に上昇したことになり、微収率

回った。また過年度の賃納などを

合ると年々の徴収率は九十四・

一%で昨年同期より二・二%も良

収率で、昨年同期より〇・九%上

回った。また過年度の賃納などを

合ると年々の徴収率は九十四・

